

## 新潟県医療審議会 議事要旨

開催日時 令和3年4月16日（金）午後6時から午後7時5分まで  
開催場所 新潟県自治会館 講堂  
出席委員 委員20名中19名

### ○議 事

#### 新潟県地域医療構想の実現に向けた今後の方向性について

##### 【県から内容を説明した後、審議】

- （委員） 下り搬送の必要性（補足資料 P59）について、上り搬送もあり得るのではないか。
- （ 県 ） 症状の急変などで地域包括ケアの病院から上り搬送が必要になるケース等も考えられるが、今後の働き方改革等を踏まえると、地域で高度な医療を支える柱となる病院に、救急は集まっていくと考えられるため、大部分は下り搬送になると思われる。
- （会長） 下り搬送が十分行われることで、患者にとって十分な機能を持つ病院に最初から行くことができるため、下り搬送は重要と思う。
- （委員） 下り搬送にかかる患者搬送手段、これにかかる準備等は今後の課題。
- （ 県 ） 患者搬送手段は重要なポイントであり、今後議論が必要と考えている。
- （委員） 県がグランドデザインを作成したことは、総論としては素晴らしいこと。これを議論する地域医療構想調整会議の進め方も議論する必要がある。
- （ 県 ） 関係機関、本庁含め、医療を考えるプレイヤーの皆様と一緒に地域ごとの議論も行っていきたい（資料 P7）。
- （委員） 中核病院から地域密着型の病院の方に医師がある程度シャッフルされる可能性はあるのか。
- （ 県 ） まずは地域の支えとなる特定の病院に一定程度、医師や症例を集約していく必要がある（補足資料 P33）。そこから、曜日、診療科などを踏まえ、地域包括ケアを支える医療機関に、地域を支える形で応援に行くことは考えられる（補足資料 P38）。
- （委員） 補足資料 P90「県民の皆様の医療に対する意識改革が不可欠」について、県民に望むこと、協力してほしいことは何か。
- （ 県 ） 不要な受診は避ける、医療資源の集約の必要性、下り搬送の必要性について、御理解いただきたい。
- （委員） 主治医からの安心感のある声かけが、患者のスムーズな転院を促すのではないか。

- (委員) 地域医療構想実現に向け、病院経営における経済効率ばかり優先するのではなく、住民へ丁寧に説明し、理解を得てほしい。
- (会長) 「持続可能で質の高い医療を提供し続けるための地域医療構想の実現」ということを県民の皆様にもしっかりと説明していくことが重要と思う。
- (委員) 地域医療構想を進める上で、外来機能の明確化も一緒に議論いただきたい。
- ( 県 ) 各圏域で新規開業が激減(補足資料 P88)しており、一般外来の維持・提供は、今後の議論で重要なポイントと考えている。
- (委員) 医療提供体制の再構築を図ることで、県内に若い医師を確保できるのか(補足資料 P90)。
- ( 県 ) 医師確保における必要条件の一つに医療再編を位置づけたい。また、医師確保には、地域医療の魅力を発信することが重要と考えている(補足資料 P73)。
- (委員) 若い医師への情報発信だけでなく、医師の働き方改革や、救急の実態など、事例を示して発信し、県民の皆様理解していただくことも重要。
- (委員) 本県のマンパワーの充実について、地域包括ケアシステムを支えていくため、多職種の方が、地域の中で医療とどのように関わっていくのか。
- ( 県 ) まずは、急性期医療の再編という切り口で進めているが、地域包括ケアの充実については、プレイヤーだけでなく、住まいや生活支援、介護予防など、より生活に密着した資源を活用していくことが必要と考えている(補足資料 P28)。

→県の案のとおり同意された。